

抗マラリア薬の説明書

商品名:メファキン/マラロン

■マラリアについて

マラリアは最も人命を奪っている感染症です。死亡者は年間50万人と推定されます。熱帯熱、卵形、三日熱、四日熱、knowlesiの5種類があります。熱帯熱マラリアは重症化する危険性があります。

■感染経路

- ・蚊(ハマダラカ)に刺されて感染します。ハマダラカは夜行性で、雨期に多く発生します。
- ・厚労省FORTHや米国CDC、英国Fit for Travelで情報を入手できます。

■流行地域

- ・高度流行地域はアフリカのサハラ以南、パプアニューギニア、南米のアマゾンです。

■診断と治療

- ・血液をギムザ染色し、マラリア原虫の有無で診断します。
- ・マラリアを否定するには3日連続のギムザ染色が必要です。
- ・熱帯熱マラリアは重症化する危険性があるため、マラリアを疑えば熱帯病の診断・治療ができる医療機関(近隣では広島大学病院)へ紹介します。

■予防方法

- ・防虫対策。長袖長ズボンの着用、夜間外出を控える、DEET塗布、蚊取スプレー、殺虫剤を染み込ませた蚊帳(LLINs)の利用。
- ・抗マラリア薬の内服。
- ・ワクチンはありません。

■抗マラリア薬の対象者

- ・サハラ砂漠以南のアフリカ、インド亜大陸の都市部や農村部、東南アジアや中南米の農村部に滞在する方。

■抗マラリア薬について

- ・2種類の抗マラリア薬を扱っています。マラロンは小児用配合錠の流通があります。
- ・渡航期間(予算)、耐性株流行地、合併症の有無で使い分けますが、通常はマラロンを処方します。
- ・メファキンの処方原則、過去にメファキン服用歴がある希望者のみとしています。
- ・抗マラリア薬を内服していても感染することがあります。

| | メファキン(275mg/錠) | マラロン(A250mg/P100mg) |
|-----------|--------------------------------|----------------------|
| 【製造会社】 | 久光製薬 | GSK(GlaxoSmithkline) |
| 【適応年齢】 | 成人 | 成人ないし40kg以上の小児 |
| 【内服回数】 | 1週間に1回1錠。 | 1日1回1錠。 |
| 【内服方法】 | 夕食後に内服。 | 食後に内服。 |
| 【スケジュール】 | 渡航1週前~帰国後4週後 | 渡航1日前~帰国後7日後 |
| 【処方錠数】 | 滞在週数+5週分 | 滞在日数+8日分 |
| 【1錠薬価】 | 766.2円 | 507.3円 |
| 【副作用】 | めまい、ふらつき | 下痢、腹痛 |
| 【内服できない方】 | 妊婦、小児、肝疾患、腎疾患、心疾患、精神疾患、てんかんの方。 | 妊婦、40kg未満の小児。 |

※支払額については、薬価+諸経費となりますので、各種料金一覧で確認下さい。

■注意事項

- ・メファキンは30kg以上45kg未満で3/4錠内服。45kg以上で1錠内服。
- ・マラロンはワーファリン内服中でINR上昇に注意が必要。

■健康被害が生じた場合

PMDAによる公的救済制度の適応です。
発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。